

# 市老協だより

新春号

## 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。本年が各施設、皆様にとりまして、よりよい一年になりますことをご祈念申し上げます。日頃より当協議会の運営に当たりご理解とご協力を賜りまして有難うございます。本年もよろしくお願ひ致します。

当協議会は社会福祉法人が運営する入所系の高齢者福祉施設60法人127施設が全て加入していただき活動しています。全加入は全国でも類をみないものといえます。昨年12月11日に京都で最も歴史があり、大規模な運営をされている社会福祉法人同和園様がめでたく100周年を迎えられました。同和園様の歴史は日本の高齢者福祉施設の歴史とも言えるもので社会福祉の先駆けであります。心よりお祝い申し上げます。同和園70年史を拝見すると創立時、当時国、行政からの補助金が得られず創立準備金はすべて当時清水寺貫主大西良慶氏の支出で賄い、初代施設長（当時は京都養老院という名称で院長と記載）に大西氏が就任されています。大西氏はじめ当時の関係者のご苦労は筆舌に尽くし難いものがあります。当時の理事会では大勢は創設尚早論であったが大西氏の強い意向で決議されましたが、当時は施設への認識や理解も全体になく、入所者がなかなか現れませんでした。寺院を通じての紹介で入所される方等が徐々に出てきた、と記載されています。当時の記録を見ると大変ご苦労された創設期でこれが京都の高齢者福祉の始まりです。大西良慶氏はじめ役員の方の社会事業への責任感と先見性が今につながっており、改めて、

会運営でも責任感と先見性を引き継ぎ運営していきたいと思ひます。

一昨年1月中旬より新型コロナウイルス感染症が日本でも起こり、今は新型コロナウイルスの新たな変異株、オミクロン株が昨年未から世界で猛威を振るい京都でも発症者が出て不安感が高まっています。このオミクロン株はこれまで流行してきたものに比べて感染拡大のリスクが高いのが特徴です。各施設におかれましては、決して油断をすることなく感染予防対策を継続していただき安心安全な環境づくりをお願いいたします。新型コロナウイルス禍での予防対策を継続していますが、平行して福祉現場は様々な課題に直面しています。地域福祉活動の自粛や縮小での地域との絆の弱まり、感染対策とサービス提供内容との両立、コロナ禍での福祉人材確保問題、生活困窮者の拡大での相談の急増、家族や親族等らによる高齢者虐待が過去最多になる等の深刻な課題があり、当協議会の事業運営はもちろん、各法人、施設の運営状況にも大きな影響が生じています。当会加入の施設は社会的意義が高く、生活の土台を支える重い役割を担っています。エッセンシャルワーカーである福祉現場の職員は生活の根幹を支えており、緊急事態であるコロナ感染の蔓延時も通常の仕事を止められません。正しく責任感と使命感で懸命に施設職員も在宅職員も支援をしています。

新型コロナウイルス感染者は今でこそ、入院治療がスムーズにできる環境ですが、昨年の流行期では特に施設内や在宅での療



一般社団法人  
京都市老人福祉施設協議会  
会長  
山岸孝啓

## INDEX

- 01~02 新年のご挨拶
- 03 高齢者施設のお料理紹介
- 04~05 介護の日 WEEK
- 06~07 かいごみらいラジオ
- 08 KYOTO かいごフォトコンテスト  
『いい日いい日写真展』

養が数多く、万全の対策を講じて必死で多くの施設・事業所が介護や看護をしていました。その中で、感染をしたご利用者、そのご家族へのさまざまな支援と同様に働く職員が感染者、濃厚接触者になった際の適切な精神的支援を主にしたサポートがとても大切です。本記事を書くに当たり、感染した経験のある職員さんにインタビューしました。思い出すのも辛いです、と言われていましたが主旨を伝え協力を得ました。発症して休みになり、迷惑をかける同僚や施設への申し訳なさと復帰出来るようになってからも復帰しても大丈夫か、うつさないかという葛藤を強く言われていました。また、復帰して1週間は雰囲気気まずく感じ、聞く言葉も悪く解釈して暗くなっていたとのことでした。とにかく普通に接してもらおうのが一番助かります、とも言われており励まさないで明るく、事もなげに接する事が大きなサポートになると私は思います。感染者、濃厚接触者の方は、新型コロナウイルスで被害を受けている人ですので、待遇や設備、備品の改善と同等に誰もが働きやすい職場になるために組織体制づくりをお願いしたいです。

今年度より新たに特任理事制度を新設して、外部理事として佛教大学岡崎祐司教授と大谷大志藤修史教授に就任して頂きました。目的として①岡崎先生からは社会福祉全般、社会保障・介護保険制度等、志藤先生からは京都市を主にした地域福祉の状況・まちづくり政策等の提言を受け、会運営でのアドバイスをいただく②会運営に閉塞感を起こさず、多様な将来を見据えた視点をもつためです。理事会にも出て頂きますが、両先生に理事監事対象の研修会講師をお願いしており会運営に活かしていきたいと思っております。

当会に政策提言委員会を置き、介護報酬はじめ介護保険制度や社会保障制度改革が私たち法人・施設の経営問題とご利用者ご家族の権利保障の立場にとり問題ないかどうかを検討しています。おかしい点や改善すべき問題を京都市と協議・共有しています。昨年も職員の給与改善問題等で協議して、介護報酬コロナ感染症対応に係る上乘せ特例継続と介護施設等に勤務する職員に対する慰労金の支給に関する緊急要望書を京都市から厚生労働省へ要望書を提出してもらいました。

中長期的な介護保険制度、社会保障制度や地域包括ケアシステムへの検討を行い提言する必要があると思います。例えば、これからも人手不足の厳しさが増していくことを見越して、生産性の向上を図りつつ介護施設の人員配置基準を緩和することが政府の規制改革推進会議で検討されています。ICT活用やセンサー、インカム、ロボットの導入、業務のアウトソーシング等を進めると、サービスの質が落ちないで少人数ケアが可能になる、という提言です。内容はユニット型特養の1ユニット定員をおおむね15人以下へ緩和することや将来的に人員配置基準を今の3・1から4・1への緩和を目指す事があげられています。今でもご利用者とのコミュニケーションの機会確保が問題の中、ますます減るのでないか、職員負担が更に重くならないか、サービスの低下の心配もついています。次期報酬改定に向けて検討が進められるので当協議会でも実態をまず把握して分析、提言していきたいと思えます。

私たちは社会福祉法人の集合体として、京都市民全体の福祉向上に寄与することを意識して、また法人施設の健全な運営の実現を意識して活動していきますので今年度もご協力ご支援をどうかよろしくお願い致します。

# 高齢者施設のお料理紹介



ふつう食



キザミ食



ペースト食

## おせち料理



レットイットビーでは京都マルタマフーズに業務委託し、施設の厨房にて調理を行い食事提供しています。ふつう食、粗キザミ食（一口大）、キザミ食、ペースト食、ソフト食の5種類の形態で対応しています。各利用者様の状態に合った形態に調理し提供していますが、メニューは統一なので皆様に同じ食事を食べていただいています。

レットイットビーは、東山区にある地域密着型特養・グループホーム・小規模多機能・シヨーステイの複合施設で、利用者様の状態に幅があるため、食事に対するニーズも様々です。少しでも皆様に喜んでもらいたいという思いから、積極的に行事食の提供を行っています。季節の行事食以外にも、松花堂弁当の日、選択食、パンメニュー、郷土料理の日を毎月行っており、大変好評です。毎月の恒例にすることで、「来月の郷土料理は何県かなあ。」「今度はパンとシチューの組み合わせがいい。」など、次の楽しみにしていただけています。また、食事中的利用者様同士の会話のきっかけにもなり、明るく楽しい雰囲気作りにつながっているのではないかと考えています。

今回は行事食の中でも特に喜んでいただいている、お正月献立の一部をご紹介します。毎年レットイットビーでは元旦の昼食に赤飯、おせち料理、お雑煮を提供しています。一年の始まりの食事であるため、味・見た目にも十分こだわり、丁寧に調理・盛付を行っています。また、普段使っていない容器を使用し、祝い箸も付けて、お正月の特別感を出しています。

「おせちが食べられて嬉しい。とても美味しい。」「たくさん種類があつてすごい。」というお声をいただいています。

食事は生きるためのものであり、楽しみでもあり、大きな役割を担っています。新型コ

ロナウイルスの影響で制限の多い生活になりましたが、施設の食事が日々変化を感じることのできる楽しみとなり、利用者様の生きる意欲になればと思っています。今後もより良い食事提供を目指し、努力していきたいと思っています。

レットイットビー 管理栄養士 伊勢屋亜悠美

- ・黒豆 「マメ(豆)に元気に働けるように」「無病息災」を祈って食されます。黒豆に含まれるアントシアニンは活性酸素の発生を抑制する働きがあるため、アンチエイジングに期待できます。
- ・伊達巻 巻物のような形が書物を連想させるので、「学業が成就しますように」と願いを込めて食されます。
- ・数の子 数の子はニシンの卵巣で「二親」と漢字を当てることで、「二人の親からたくさんの子供が生まれる」とされ、子孫繁栄の縁起を担ぐおめでたい一品です。
- ・昆布巻き 昆布は「よろこぶ」の語呂合わせから「喜ぶ」とされ、「養老昆布」とも掛けることから、お祝いの意味の他にも不老長寿の願いが込められています。
- ・栗きんとん 黄金色の見た目を金塊や小判などに見立てていることから、金運上昇を願う料理になりました。



# KBS京都ラジオ 介護の日 WEEK

11月11日の「介護の日」へ向けた取り組みとして、  
10月29日（金）と11月1日（月）～11月6日（金）の一週間を  
「介護の日WEEK」とし、  
ラジオ・テレビを通じて介護・福祉の仕事の魅力を発信しました。

10月29日（金）

「きらきん！」

ゲスト：ハートメッセンジャー



「ありがとう」「嬉しいわぁ」という言葉を直接もらえるところにやりがいを感じます



ご利用者によりよい日々を送ってもらえるよう、職員もチーム一丸となって協力しています

11月1日（月）

「ファミリーレストランのめっちゃうま！」

ゲスト：食事ケア部会



季節の行事の時など、食事に季節感を出して楽しんで頂けるようにしています



「いまこの方は何が食べたいかな」「体に負担がないかな」など考えながら作っています



11月2日（火）

「桂二葉と梶原誠のご陽気に」

ゲスト：ホームヘルプ部会



「来てくれて嬉しい」「待ってたで」という言葉にやりがいを感じます



ご自宅でゆっくりと、その方のご希望に沿った援助をすることができます

# 11月3日水・祝

## 「チキチキ・遠藤Nami乗りジョニー」

ゲスト：介護部会



ご利用者と、人と人の自然な関係性を築けているときに、嬉しく感じます



いろんな年齢や職歴学歴の職員がいるので、得意なことや個性を活かしながら、楽しくお仕事をしています

# 11月4日木

## 「天才ピアニストと澤武のせやけどアレやね」

ゲスト：医療ケア部会

人生の最期まで一人ひとりの尊い命に寄り添う施設看取りには感動します



耳や心を傾けて、可能な限りご本人の意思を知ろうとする姿勢を持ち続けています



# 11月5日金

## 「妹尾和夫のパラダイスKyoto」

ゲスト：生活相談部会

施設の中と外をつなぐような、人と人の関係づくり、幅広く公的な制度の活用のお手伝いなどを行っています



ご利用者のご家族もいろんな悩みを抱えてこられたと思いますので、そうしたお気持ちを大切に受け止めるように心がけています



# 11月6日土

## 「森脇健児のサタデーミーティング」

ゲスト：リハビリ部会

リハビリが必要なご利用者に、介護士と連携しながら、日常生活における動作の助言などを行っています



福祉用具の活用で、介護度が重度な方でも双方共に安全に移乗ができ、顔なじみの方と一緒に過ごせる。そんな環境が当たり前になればと思います



# 11月6日土

## 「キモイリ！」

### かいごみらいラジオPRとフォトコンテスト結果発表

ゲスト：人材確保・定着委員会

介護の日常には楽しさや喜びなど、仕事のやりがいにつながるエピソードがたくさんあります



11月7日(日)

# KBS京都ラジオスペシャルプログラム

## かいごみらいラジオ！

今年度の『介護の日』記念事業メインイベント、KBS京都ラジオにて、介護福祉のお仕事について、熱い思いを語らせていただきました！

### かいごみらい人



#### 京都医療福祉専門学校—木村さん

毎日勉強する中で、介護福祉士への憧れや目標も強くなってると感じます



#### 京都福祉専門学校—モントーヤさん

根拠なく人を助けるのではなく、福祉の理念と科学的な根拠に基づいて、本当の支援につながる介護を勉強しています

#### 山岸会長

介護福祉は、感謝や笑顔を頂ける、喜びの多い仕事です



#### 海平アナウンサー

かいごみらいフェスは、介護福祉を楽しく学んで、未来につながるんですね



#### チキチキジョニー—石原さん

医学も福祉もどんどん進化しているんですね



#### チキチキジョニー—岩見さん

年とっていききたいなって思える社会になったらな…



### トークセッション ～認知症についての正しい理解～



#### 門川大作京都市長

支援を必要とする人が、自分らしく生きがいを持って頂けるような取り組みを広げていきたい



#### 北山病院—院長—澤田先生

認知症になっても幸せに生きられるんだ、という社会を作っていきたいですね



#### 特別養護老人ホーム—河本施設長

認知症になっても、ご自身で働いて活躍して頂ける取り組みをしています。



# 未来のかいごイラストコンテスト 結果発表

## 最優秀作品（小学校1年生～4年生の部）



山本倫大朗さん



## 最優秀作品（小学校5年生～中学校3年生の部）



佐藤拓馬さん



おめでとうございます！

素敵なアイデアのご応募、  
本当にありがとうございました！！

# 市老協 You Tube 動画配信中！

### 実話

さいごの贈りもの



### 介護部会

『介護職員あるある』



### 医療ケア部会

『高齢者施設の看護師として働いてみませんか』



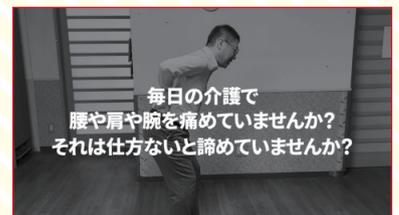
### 食事ケア部会

『簡単 お豆腐 アレンジレシピ』



### リハビリ部会

『これで腰痛知らず！  
～腰痛の対策と3秒でできる体操～』



# KYOTO かいごフォトコンテスト

## 『いい日いい日写真展』

令和3年度 京都市老協「介護の日」記念事業『KYOTO かいごフォトコンテスト』では、18の施設から計66点の作品応募がありました。一次審査において20点の作品が選ばれ、二次審査において最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞を選出されました。

高齢者および、福祉・介護に携わる方々の日常における喜びや楽しさ、やりがい、感謝等様々な気持ちがかもった作品の数々を、多数ご応募くださり、本当にありがとうございました。作品をご応募頂いた方々をはじめ、審査にご協力いただいた外部審査員や役員等、写真展に関わっていただいたすべての皆さまに深く感謝申し上げます。

現在作成中のデジタルフォトブックは、完成次第市老協ホームページに掲載させていただきます。また作品は市老協公式 SNS からご覧頂けますので、ぜひ SNS に遊びに来てください。

(かいごみらいフェス企画運営委員会)



最優秀賞

『あんな、食べよし』

(撮影者：松本 哲郎さん)



優秀賞

『ありがとう』

(撮影者：石井 温子さん)



優秀賞

『職人技』

(撮影者：中村 陽平さん)

審査員特別賞

『乾杯!』

(撮影者：小西 有子さん)



### 市老協公式SNS

市老協ホームページから、老協公式SNSを御覧いただけます。イベントに関するお知らせなど御覧いただけます。ぜひ遊びにきてください、お待ちしております。

ホームページは  
こちらから

